

分類	セッション名	日にち	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者（最も重要視するものは○）	セッション言語	領域
シンポジウム1	DKD診療の新たな展開と今後の課題	6月10日(金)	9:00-11:00	120分	第2会場	会議場 1階 メインホール	SGLT2阻害薬、インクレチン、MRBのエビデンスが数多く報告され、さらにはミトコンドリア作用薬等が上市された。DKDの合併症管理を踏まえて、各治療薬への期待と今後の課題について概説、議論する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：糖尿病）	日本語	糸球体・尿管間質疾患（一次性、二次性（DM腎症も含む））
シンポジウム2	構造生物学を学ぶ	6月10日(金)	9:00-11:00	120分	第4会場	会議場 4階 401+402	クライオ電顕やAlpha fold 2の登場もあり進歩が著しい構造生物学について、今後の基礎研究者は非専門家であっても理解する必要があると考えられ、その活用事例や今後の展開をご紹介いただく。	○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）
シンポジウム3	日本腎生検レジストリー/日本腎臓病総合レジストリー	6月10日(金)	9:00-10:30	90分	第9会場	展示場 2号館 3階 3A会議室	2007年から登録が開始されたJ-RBR/J-KDRの現状や年次報告を行い、さらには登録データを活用した研究成果について、特に最近論文発表されたFSGSおよびMPGN/C3腎症のわが国の予後調査について国際比較を含めた発表を行う。最近診断基準が改訂されたIgG4関連腎臓病を取り上げて診断と治療のアップデートを行う。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：腎臓内科、腎病理）	日本語	腎臓病対策委員会：腎臓病レジストリー委員会
シンポジウム4	ガイドライン改訂とOncoNephrology Update	6月10日(金)	14:30-16:30	120分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南	「がん薬物治療中の腎障害ガイドライン」改訂のポイントを中心に、OncoNephrology領域の中でも近年問題になっているポイントを中心に講演を行い、いただいたご意見をガイドラインに反映することを目標とする。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	学術委員会（+OncoNephrology WG）
シンポジウム5	多発性嚢胞腎：早期診断・早期診療の時代を迎えて	6月10日(金)	14:30-16:30	120分	第2会場	会議場 1階 メインホール	進行性のADPKDに対しては、治療介入時期が早ければ早いほど良いという時代に入った。しかし、多くの問題が残されている。この企画では、早期治療のメリット、問題点、これからの課題をまとめて、問題提起することを目的にする。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患
シンポジウム6	糸球体腎炎update～国際間での診療ストラテジーの相違～	6月10日(金)	14:30-16:30	120分	第3会場	会議場 3階 国際会議室	昨年日本のガイドラインが改訂され、本年KDIGOのガイドラインも改訂された。各糸球体腎炎の病態updateと治療について、海外と本邦の比較も含めて議論する。また近年各糸球体腎炎のコホート研究も数々報告されているので、この点も概説いただく。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	糸球体・尿管間質疾患（一次性、二次性（DM腎症も含む））
シンポジウム7	糖鎖生物学と腎臓	6月10日(金)	14:30-16:30	120分	第4会場	会議場 4階 401+402	腎臓には数多くの糖鎖修飾を受ける分子が存在しており、近年バイオマーカーの同定や治療薬開発などトランスレーショナルリサーチが進んでいる。最近の知見をご紹介いただく。	○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）
シンポジウム8	遺伝子診断の臨床応用	6月10日(金)	16:40-18:40	120分	第2会場	会議場 1階 メインホール	遺伝子解析は、単に確定診断に有用なだけでなく、疾患の予後予測や臨床的な意思決定に影響を及ぼすことも多い。臨床応用という視点から遺伝子解析について解説をお願いする。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：遺伝子）	日本語	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患
シンポジウム9	系統的腎病理教育シリーズ3：糸球体メサンギウム障害を考える	6月10日(金)	16:40-18:40	120分	第3会場	会議場 3階 国際会議室	日本腎病理協会では、系統的病理シリーズとして糸球体構成細胞として内皮細胞、係蹄上皮細胞にスポットをあてて、2019年、2020年の日腎総会でシンポジウムを行い、初期研修医に向けた基本的な病理所見捉え方から、後期研修医や専門医を対象とした鑑別点や、専門的な新しい知見を意識した内容を呈示してきた。今年はメサンギウム細胞に焦点をあてて、病理学的な理解を深め、病理診断や解釈への応用といった臨床病理に根差した内容としたい。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	腎病理企画/日本腎病理協会
シンポジウム10	GPCRシグナルにおける治療標的の探索	6月10日(金)	16:40-18:40	120分	第4会場	会議場 4階 401+402	Gタンパク質共役型受容体（GPCR）は医薬品の代表的な標的分子である。GPCRシグナルの腎臓や血圧制御における役割を解説し、創薬標的としての可能性を紹介する。	○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）
特別連続企画<腎生100年を目指して>1 シンポジウム11	Cutting-edge Findings on Aging and Kidney Disease	6月10日(金)	16:50-18:50	120分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	急速に進む高齢化は今後さらに慢性腎臓病患者人口を増加させると予測されます。腎臓は加齢に伴い機能障害を呈する臓器の一つであると同時に加齢が慢性腎臓病の発症・進展に対する危険因子の一つとなります。老化と腎臓病に関連した最新の知見を発表いただきディスカッションできればと思います。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（領域：基礎研究、腎臓内科）	英語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）

分類	セッション名	日にち	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者（最も重要視するものは○）	セッション言語	領域
シンポジウム12	腎疾患・腎移植におけるプレコンセプションケア－腎臓病患者の妊娠について－	6月10日(金)	16:10-18:10	120分	第9会場	展示場 2号館 3階 3A会議室	プレコンセプションケアとは、「妊娠前の女性とカップルに医学的・行動学的・社会的な保健介入を行うこと」であり、2012年にWHOにより定義された概念である。腎疾患領域では、腎移植後の患者やSLEの若い女性など、プレコンセプションケアが必要な症例に遭遇する機会が多い。したがって、全ての腎臓専門医において、プレコンセプションケアを正しく理解し、実臨床に結びつけることは、非常に重要である。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	企画・渉外委員会
シンポジウム13	CKD領域の新規治療薬	6月11日(土)	9:00-11:00	120分	第2会場	会議場 1階 メインホール	近年、SGLT2阻害薬のCKDに対する追加適応承認など、CKDの治療選択に広がりが見られる。本セッションでは過去数年以内に臨床応用された（る）新規CKD治療薬に関する話題提供する。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	CKD（DM腎症は除く）
シンポジウム14	新規解析手法とTargetでAKIに挑む	6月11日(土)	9:00-11:00	120分	第9会場	展示場 2号館 3階 3A会議室	急性腎障害の病態解析に向けて、様々な新規手法を用いた解析が進められている。また、新規視点からのAKIの病態解明も進められている。本シンポジウムでは、AKIの最新の知見を、それぞれの第一人者から発表頂き、今後の進展の可能性について議論する。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：基礎研究者）	日本語	AKI
シンポジウム15	腎臓病治療に対する新たな切り口	6月11日(土)	14:00-16:00	120分	第4会場	会議場 4階 401+402	新たな実験手技や実験機器が登場で、実験は加速度的に発展しているが、論文からだけでは実験の実態をつかむのが難しい。近年着目されている実験手技や結果などを紹介することで、参加者の研究の深化に寄与することを目的とする。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）
特別連続企画<腎生100年を目指して> 2 シンポジウム16	DKDに立ち向かうーこれまでの100年とこれからの未来ー	6月11日(土)	14:00-16:00	120分	第7会場	会議場 5階 504+505	Insulinの発見から100年、糖尿病性腎症の結節性病変の発見から80年がたち、糖尿病ならびに糖尿病性腎臓病の病態の解明が進んできた。これまでの研究の歴史を振り返りながら、最先端の研究、これからの展望などを紹介したい。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）
シンポジウム17	小径腎がん治療の最前線	6月11日(土)	16:10-17:40	90分	第2会場	会議場 1階 メインホール	検診などの画像検査により4cm以下の小径腎がんとして偶然見つかる腎腫瘍が増えている。従来、小径腎がんの治療法は根治的腎摘除術が施行されてきた。しかし、近年制癌のみならず慢性腎臓病の予防の観点からも腎機能温存が重要視され、腎部分切除術による腎機能温存手術の適応が拡大している。偶発腎がんを発見した時の最新の知識を理解する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患
シンポジウム18	腎臓だけじゃない、体液調節臓器	6月12日(日)	9:00-11:00	120分	第2会場	会議場 1階 メインホール	体液バランス調節における腎臓の重要性は言わずもがなだが、近年、他臓器における体液調節が腎臓と密にバランスを取っていることもわかってきている。全身から見た体液バランスと、その破綻について、腎・脳・皮膚・腸管などの各臓器の視点から議論を拡げたい。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	水電解質・酸塩基平衡、骨ミネラル代謝
シンポジウム19	心腎連関における治療戦略のパラダイムシフト～CKD患者におけるCVD抑制～	6月12日(日)	9:00-10:40	100分	第9会場	展示場 2号館 3階 3A会議室	近年新たな治療薬の登場により心不全および慢性腎臓病への介入が可能となった。心腎連関を対象にした薬剤介入意義について、特に高血圧・心血管イベント抑制の観点から解説する。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	高血圧、心血管系
シンポジウム20	ESKD患者における慢性炎症	6月12日(日)	13:50-15:50	120分	第2会場	会議場 1階 メインホール	透析患者をはじめとするCKD患者の特徴として、慢性炎症状態にあるということが挙げられます。こうした炎症は、低栄養・消耗、ESA低反応性、心血管疾患など様々な病態を介して、透析患者の予後と関連しています。炎症とは何かという基礎的な話題から、どうすれば炎症を抑えられるのかといった臨床に即した内容まで意見を集約し、知識を整理できるとよいと考えます。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	ESRD（移植含む）
ワークショップ1	SLE、ANCA関連血管炎の治療の進歩	6月10日(金)	9:00-11:00	120分	第3会場	会議場 3階 国際会議室	最近、SLE・ループス腎炎やANCA関連血管炎では、重要な臨床試験の結果が相次いで発表されている。腎臓内科医に知っておいて欲しい、新たに登場した治療薬や、治療法における新たな知見について解説していただく。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：免疫学、リウマチ・膠原病学）	日本語	糸球体・尿管間質疾患（一次性、二次性（DM腎症も含む））

分類	セッション名	日にち	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者（最も重要視するものは○）	セッション言語	領域
<プログラム委員会企画1> ワークショップ2	病理形態から展望するCOVID-19感染症に関連する腎障害	6月10日(金)	14:30-16:00	90分	第9会場	展示場 2号館 3階 3A会議室	不明な点が多かったCOVID-19ですが、少しずつその本態が明らかになってきています。コロナ感染に伴う腎障害も様々な報告例から多数報告されているほか、最近では、コロナワクチンの接種に伴う腎障害の報告もKidney Intなどの国際誌からも散見されます。 このような現状を背景として、本邦において、コロナに関連する腎障害、特に病理形態的観点からどのような障害が広がっているのかを明らかにすることを目的として、日本腎臓病学会の会員を対象として、コロナ感染に関連する腎障害例について病理組織学な側面から検討された症例についてのアンケート調査を2021年8月に実施しました。この調査内容を基盤として、コロナ関連腎症が組織学的な現状を総括するとともに、コロナ感染者の腎生検例、コロナ感染者の剖検例(腎)、ワクチン接種後腎障害の腎生検について具体的な症例を提示し、コロナ関連腎障害の組織学的特徴についての認識の共有を図る。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	腎病理企画/日本腎臓病学会
ワークショップ3	腎疾患診療最適化のためのAI・ICTの活用	6月10日(金)	16:40-18:40	120分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南	腎疾患診療において、CKDやAKI、腎障害進展リスクを予測することは重要である。そこで、腎疾患診療最適化のためのAI・ICTの活用を考える。	全学会員	日本語	AI・ICT委員会
<プログラム委員会企画2> ワークショップ4	COVID-19と糸球体疾患	6月11日(土)	9:00-11:00	120分	第3会場	会議場 3階 国際会議室	腎疾患は、COVID-19感染時の、重症化、死亡のハイリスクであるばかりではなく、感染自体が発症、増悪の契機となったり、ワクチン接種や免疫抑制薬の使用に伴う様々な懸念があり、臨床的、学術的に最新の知見を共有することは有意義であると考えられる。特にリツキシマブの使用頻度が増加しており、B細胞除去によるSARS-CoV-2ウイルスへの易感染性やCOVID-19重症化の懸念が大きい。本ワークショップではコロナ禍で診療現場が抱えるジレンマと、post B cell depletion治療の可能性を議論する。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	糸球体・尿管間質疾患（一次性、二次性（DM腎症も含む））
ワークショップ5	AKI診療におけるコンセンサスとコントロールバナー	6月11日(土)	14:00-15:30	90分	第3会場	会議場 3階 国際会議室	AKI診療ガイドラインが発表されてから5年が経過した。当時の問題点で解決されたこと、未だ問題として残ること、発表による臨床上的変化について整理し、次の改訂への整理を行う。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（領域：AKI、敗血症、集中治療、救急、小児）	日本語	AKI
ワークショップ6	CKD診療における病診連携・多職種協働	6月11日(土)	16:10-18:10	120分	第3会場	会議場 3階 国際会議室	CKDの発症、進展抑制のため実効的な病診連携・多職種連携の意義が提唱されている。多職種連携は腎臓病療養指導士の更新単位対象として毎回プログラムに組まれるものも、今回ぜひ多くの医師に参加いただくプログラムとして、療養指導士枠以外の病診連携・多職種協働プログラムを提案し、現状と課題について共有する機会としたい。		日本語	CKD（DM腎症は除く）
ワークショップ7	腎生検病理診断コンサルテーション・アンド・レビュー	6月11日(土)	16:10-18:10	120分	第9会場	展示場 2号館 3階 3A会議室	腎臓学会会員全員に広く案内を出し、日常の腎生検症例の中で結論が出ていない診断困難例を応募してもらったうえで、それらの症例に対し腎臓病レジストリー委員・腎病理標準化小委員が解析して病理診断を行う。3症例について病理診断をするとともに、集まった症例をまとめた形でレビューを行い、診断困難な症例の臨床病理的な診断を通して腎疾患の理解を深める。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家	日本語	腎臓病対策委員会：腎臓病レジストリー委員会
ワークショップ8	CKD診療におけるEvidence-Practice Gap：どう克服するか？	6月12日(日)	9:00-11:00	120分	第3会場	会議場 3階 国際会議室	CKD重症化予防のための管理目標と診療実践の乖離（Evidence-Practice Gap：EPG）が指摘される。リアルワールドにおける主要な管理目標のEPGの実態を横断的、縦断的に概観し、エビデンス実装の阻害要因を抽出し、その克服のための方策を考える機会とする。	○ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家	日本語	CKD（DM腎症は除く）
ワークショップ9	腎臓病療養指導士活動のアウトカム評価－腎臓病療養指導士の更なる発展を目指して－	6月12日(日)	9:00-11:00	120分	第4会場	会議場 4階 401+402	腎臓病療養指導士の活動実態を見える化し、各職種の取り組みとアウトカム評価をどのように考えているのかを発表していただき、議論し、さらなる発展につなげたい。また、日本腎臓病協会が実施した腎臓病療養指導士関連のアンケート結果も踏まえて発表いただく。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：看護師、薬剤師、管理栄養士）	日本語	多職種・患者会
ワークショップ10	骨ミネラル代謝の新知見	6月12日(日)	9:00-11:00	120分	第7会場	会議場 5階 504+505	骨ミネラル代謝やCKD-MBDに関わる基礎的、臨床的な知見が深まり、あらたな治療薬や治療標的も生まれている。最新の知見を基礎から臨床まで幅広く取り上げ、理解をさらに深めていくことをねらいとする。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	水電解質・酸塩基平衡、骨ミネラル代謝

分類	セッション名	日にち	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者（最も重要視するものは○）	セッション言語	領域
<プログラム委員会企画3>ワークショップ11	COVID-19関連腎障害 UpToDate	6月12日(日)	11:10-12:10	60分	第2会場	会議場 1階 メインホール	腎臓病診療におけるCOVID19対応ガイドが発刊された。このセッションでは、COVID19の現状、腎障害関連疾患の機序とその対策、今後の問題点について議論する場としたい。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	CKD（DM腎症は除く）
特別連続企画<腎生100年を目指して>3ワークショップ12	Withコロナ時代の腎臓リハビリテーション	6月12日(日)	13:50-15:20	90分	第3会場	会議場 3階 国際会議室	学会員の中にも腎臓リハビリテーションが広まってきているが、最新の知見を学ぶ機会は限られている。コロナ時代となり実臨床で様々な困難が伴う中での実践法・最新のエビデンス・今後の展望を議論する場としたい。腎リハ学会新理事長に就任された山縣先生に抱負を伺う良い機会とも考えている。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	CKD（DM腎症は除く）
ワークショップ13	新たなサポーター支援に向けた取り組み	6月12日(日)	13:50-15:20	90分	第4会場	会議場 4階 401+402	日本腎臓学会サポーター制度は、腎臓学会の活動に、自主的に参加する仕組みを提供し、サポートを通じて様々な会員と知り合うことを通じて自身の活躍の場を広げていくことを目的としている。コロナ禍に置いて、その取り組みや活動が変化してきている。本ワークショップでは、今後のサポーター支援に向けて、現在の課題や今後の制度改善の取り組みを紹介するとともに、制度改善のための提言をいただく。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	企画・渉外委員会
ワークショップ14	CKD・ESRD患者における骨粗鬆症治療の課題	6月12日(日)	13:50-15:20	90分	第7会場	会議場 5階 504+505	CKD・ESRD患者は腎機能低下に加え、閉経後、加齢、糖尿病、ステロイド内服など骨粗鬆症の要因を数多く有します。しかし、骨粗鬆症に対する薬剤をいかに使用すべきか不明な点が多く、腎臓専門医であっても適切な薬剤の選択は難しいのが現状です。本企画では、CKD・ESRD患者における骨粗鬆症治療の課題をテーマに、実践的な処方の方あり方、使用する際の注意事項などに関して議論して頂きたいと思います。	○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	ESRD（移植含む）
ワークショップ15	進行性腎障害におけるcommon pathwayと治療介入	6月12日(日)	13:50-15:50	120分	第9会場	展示場 2号館 3階 3A会議室	原疾患を問わずネフロン数減少に伴う進行性腎障害のcommon pathwayが想定されている。ネフロン数減少に伴うmaladaptationに関連する病態理解と治療介入の可能性について今後の展望も含めて現状を知る。	○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	高血圧，心血管系
教育講演1	基礎実験に必要な統計学：分子生物学・生化学・細胞生物学における統計のポイント	6月10日(金)	9:00-10:00	60分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	基礎実験を行う上で統計処理は必須の作業である。しかしながら、統計処理について正確に理解できている自信はあるだろうか。専門家から具体的な事例を紹介いただき、基礎医学における統計処理について理解を深めたい。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家	日本語	基礎医学（発生，実験病理，実験生理，実験免疫）
教育講演2	研究成果の共有	6月10日(金)	10:10-11:10	60分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	医学論文のオープンアクセスの重要性、機関リポジトリ、研究者のネットワークORCIDなどによる研究成果の共有の意義や方法を腎臓の研究者に理解を深めるとともに著作権侵害にあたらない引用方法など学会員がこれらのごとに高い意識を持てるような教育の場とする。	○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	学会あり方委員会
教育講演3	TMAの最近の知見	6月10日(金)	14:30-15:30	60分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	近年aHUS、C3腎症の機序解明が進み、病態の理解と治療法が格段に進歩した。一方、実臨床で遭遇するTMAの原因は多岐に渡っており、病因ごとに治療法、治療反応性を含めた予後が大きく異なる。本セッションでは、各病因別にエキスパートからレクチャーをいただき、理解を深めることを狙いとする。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	日本語	糸球体・尿管間質疾患（一次性、二次性（DM腎症も含む））
教育講演4	小児期発症のネフローゼ症候群の全て	6月10日(金)	15:40-16:40	60分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	ネフローゼ症候群は小児腎臓病領域で非常に重要であり、幅広い原因を含みながらも、2000年以降の調査では20～50%が高い疾患活動性を保ったまま、成人に移行するため小児のみならず成人腎臓内科と協同して管理していく必要があり、共通の認識、理解が必要と考える。遺伝学的解析の進歩に伴う遺伝的知見も踏まえ、現時点での最新の知見を解説する。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	小児、遺伝性疾患、嚢胞性疾患、泌尿器疾患
教育講演5	ESKDにおける微量栄養素	6月11日(土)	9:00-10:00	60分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	微量元素（亜鉛/銅、セレン）、カルニチン、ビタミン（ビタミンK、水溶性ビタミンなど）について、新たな知見が集積されつつあります。ND～HD/PD～移植患者まで、欠乏がどのような病態と関連するのか、補充はどのように行うのか、知識をまとめていけるとよいと考えます。	○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：管理栄養士）	日本語	ESRD（移植含む）

分類	セッション名	日にち	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者（最も重要視するものは○）	セッション言語	領域
教育講演6	腎疾患におけるアフレシス療法の新たな適応へ向けて	6月11日(土)	10:10-11:10	120分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	今後保険適応が期待されるLDLアフレシスの難治性ネフローゼ症候群、糖尿病腎症、コレステロール結晶塞栓症に対する効果とエビデンスを啓発すること。また近年のCOVID-19感染に対する血漿交換療法の効果と適応について考える。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：糖尿病、救急、感染症）	日本語	企画・渉外委員会
教育講演7	腎専門医が知っておくべき最新重要論文BEST3（水電解質・酸塩基平衡・骨ミネラル代謝編）	6月11日(土)	15:10-16:10	60分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	腎臓専門医として知っておくべき、臨床にインパクトを与えた最近の重要論文を紹介し、専門家としてどう臨床に生かすかを解説する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（領域：加齢）	日本語	水電解質・酸塩基平衡、骨ミネラル代謝
教育講演8	研究倫理・医療倫理に関する研修会	6月11日(土)	16:30～17:30	60分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	これまでの研修会に準じて、最新の研究倫理・医療倫理・利益相反の情報を共有することをご提案致します。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（対象：腎臓学会員）	日本語	倫理委員会
教育講演9	モノクローナル免疫グロブリン関連腎症	6月12日(日)	9:00-10:00	60分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	近年、多発性骨髄腫の前段階で良性と捉えられてきたMGUSの経過中に腎障害を呈する症例の疾患概念として、MGRSが提唱されているが、腎臓内科、血液内科双方が関与するなかで、治療ストラテジーがまだ混沌としている。モノクローナル免疫グロブリン関連腎症の病因、腎生検所見、予後、および治療など全体像の把握が今後の重要課題である。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：血液内科）	日本語	糸球体・尿細管間質疾患（一次性、二次性（DM腎症も含む））
教育講演10	最新のサイエンスで読み解く糸球体疾患の疾患概念	6月12日(日)	10:10-11:10	60分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	糸球体疾患は、国家試験への出題も多く、医学生が腎臓病学の魅力を知る大きなきっかけになりうる領域である一方、多くの学生にとって暗記科目となっており、根底には、疾患概念を十分理解できないことが問題となっているように思われる。本教育講演では、最新のサイエンスをふまえ、糸球体疾患の本質について、わかりやすく説明し、学生から初期研修医、後期研修医が病態をより深く理解できるように、また、専門医にとっては、教える立場を意識しながら学び直す機会となることを目的とする。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	糸球体・尿細管間質疾患（一次性、二次性（DM腎症も含む））
ダイバーシティ推進委員会企画1	海外ラボでbig journal－コロナ禍で考える留学のこと－	6月11日(土)	9:00-11:00	120分	第4会場	会議場 4階 401+402	日本人の海外留学が減っており、さらにCOVID-19の流行はより内向き志向に拍車をかけています。この企画では、最近留学先で大きなお仕事をされた先生方に実際の体験談を含めて最新の研究成果の発表をいただきます。海外での研究の現在のリアルと最新・最先端のサイエンスを議論しながらコロナ禍での留学を考えたいと思います。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（領域：基礎研究、腎臓内科）	日本語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）
腎臓指導医講習会		6月12日(日)	13:40-14:40	60分	第8会場	展示場 2号館 2階 2A会議室	今後、指導医の更新要件として、指導医講習会の受講が必要となるので、指導医の指導能力の向上の為に実施する。	○ 腎臓専門医（指導医）	日本語	教育専門医制度委員会
理事長企画		6月11日(土)	15:15-17:15	120分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南				理事長企画
総会長特別企画1	CKDにおける冠動脈石灰化の病態・治療に迫る	6月10日(金)	9:00-11:00	120分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南			日本語	総会長特別企画
総会長特別企画2	IgG4関連疾患・IgG4関連腎臓病の最新理解	6月11日(土)	9:00-11:00	120分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南	IgG4RDあるいはIgG4RKDは常に診断概念が更新されている。IgG4RKDに関しても新規の診断基準案が提唱された。この疾患の発症メカニズムも少しずつ解明されている。また、治療法に関しても新知見がある。これらをシンポジウム形式でまとめた。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：腎臓内科医、糖尿病内科医、透析専門医、移植医）	日本語	総会長特別企画
総会長特別企画4	CKD患者さんの声に耳を傾けてみよう	6月12日(日)	14:20-15:50	90分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南	各学会に患者さんの演者としての参加もあたり前の時代となっている。特に、SDMが必要な分野、「がん治療の分野」では先行している。治療選択にSDMが必要な腎臓病学分野でも患者さんの声を聞く企画は必要と考えた。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ○ 専門家（領域：腎臓内科医、透析専門医、移植医）	日本語	総会長特別企画

分類	セッション名	日にち	時間	所要時間	会場	部屋名	企画のねらい	対象者（最も重要視するものは○）	セッション言語	領域
特別講演1（総会長特別企画3／ダイバーシティ推進委員会企画2）	女性起業家からみた日本の社会（仮）	6月12日(日)	11:10-11:55	45分	第3会場	会議場 3階 国際会議室			日本語	総会長特別企画
特別講演2	Basic research by the world's leading next-generation nephrologists	6月12日(日)	14:50-15:50	60分	第5会場	会議場 5階 501	中堅と言われる世代でありながら、腎臓病研究において世界をリードするお二人の先生方から最新の知見をご講演いただきます。Kramann博士はfate tracingやシングルセル解析などの多彩な手法を用いた研究で腎臓線維化研究に置けるトップリサーチャーです(JCI 2015 Cell Stem Cell 2015, 2017 Nature 2020など)。Canaud先生は、ポドサイトや抗リン脂質抗体症候群に対してPIK3CA/AKT/mTOR経路が関与することを明らかにされたのち (Nature Med 2013, NEJM 2014)、現在は希少難病に対しての基礎データをもとに(Nature 2018)新規治療薬開発を精力的に進められています。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医） ◎ 専門家（領域：基礎研究、トランスレーショナルリサーチ、腎臓内科）	英語	基礎医学（発生、実験病理、実験生理、実験免疫）
招請講演1	腎移植の間質障害のメカニズムと韓国腎移植の現状について	6月10日(金)	11:25-12:15	50分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南			英語	総会長特別企画
招請講演2	Recent Topics of IgG4-related Kidney Disease	6月11日(土)	11:00-11:50	50分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南			英語	総会長特別企画
招請講演3		6月12日(日)	11:00-11:50	50分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南				総会長特別企画
理事長講演		6月11日(土)	14:20-15:05	45分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南				理事長企画
会長講演		6月11日(土)	13:30-14:20	50分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南			日本語	総会長特別企画
Asian Session・APSN CME Joint Symposium		6月10日(金)	9:15-11:15	120分	第7会場	会議場 5階 504+505	アジア各国の主要学会理事長あるいは推薦者を中心に講演していただき、それぞれの腎領域registryの取り組みなどの情報を共有し、今後を展望する。APSN CMEとのjoint symposiumとしても行い、国内外の若手腎臓医の参加を促し、議論する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	英語	国際委員会
JSN/KDIGO Joint Symposium		6月10日(金)	16:40-18:40	120分	第7会場	会議場 5階 504+505	これまで例年継続されてきたKDIGO-JSN Joint symposiumを継続することで、KDIGOとの連携を強化する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	英語	国際委員会
JSN/ASN Joint Symposium		6月11日(土)	9:00-11:00	120分	第7会場	会議場 5階 504+505	これまで例年継続されてきたASN-JSN Joint symposiumを継続することで、ASNとの連携を強化する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	英語	国際委員会
JSN/ERA Joint Symposium		6月11日(土)	16:10-18:10	120分	第7会場	会議場 5階 504+505	これまで例年継続されてきたERA-EDTA-JSN Joint symposiumを継続することで、ERAとの連携を強化する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ○ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ◎ 腎臓専門医（指導医）	英語	国際委員会
JSN/ISN Joint Symposium		6月12日(日)	9:00-11:00	120分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南	南学先生がISN President Electになられたことを受けて、ISNとの連携を強化する一環として開催する。	○ 学生 ○ 初期研修医 ◎ 後期研修医以降（専門医試験受験前） ○ 腎臓専門医（指導医）	英語	国際委員会
大島賞受賞講演		6月10日(金)	13:30-13:45	15分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南			英語	
CSA (Clinical Scientist Award) 受賞講演		6月10日(金)	13:45-14:00	15分	第1会場	展示場2号館 1階 コンベンションホール南			英語	
YIA (Young Investigator Award) 受賞講演		6月12日(日)	13:50-14:35	45分	第5会場	会議場 5階 501			英語	